

# 小学校長会会長賞

堺市立 茶山台小学校 六年

盛尾 真帆

## 社会にあいさつを

それは三年生のころのことです。私は家の事情で引っこして学校が変わったことがあります。新しい学校に入るともう一人転入生がいました。その子はいつも一人でさみしそうにしています。とても消極的でまたちがう学校に転校するまでの一学期の間、一言も言葉を発しませんでした。私はその子と仲良くなりたいと思

い、席を立つと他の子たちが私の周りをかこんで話しかけてきました。私はその輪からぬけだせず、その子に話しかけられるような雰囲気ではありませんでした。仕方なくその子のことを見ていると周りに三人程が集まって話しかけていました。しかし、その子はうなずきもせず、無視しているようでした。帰ってからもその子のことが頭からはなれません。そこで母にその子のことを話すと、

「その子、はずかしくて話せないんだって。」と、その子のお母さんと話した内容を教えてくれました。私がどうしたら良いかなやんでいると母が、

「あいさつだけでもしたらどうかな。『おはよう』と『ばいばい』

だけでも良いから。たぶん、必要以上に話しかけると困ると思うんだ。」

とアドバイスしてくれました。次の日から毎日あいさつをしました。私は引つ込み思案なところもあつたけど勇気を出して、「おはよう」と「ばいばい」を言いました。その子にだけでなく、他の子にも言いました。すると、その子は無視せずふりむいてくれるようになりました。他の子もあいさつを返してくれることが増えました。

私はその子が転校した後も、あいさつを心がけています。この三年生のころの出来事のおかげで友達もでき、引っこみ思案もありません。また、その子もできるだけ無視しないように言葉では伝えなくても、うなずいたり、笑ったりして、気持ちを伝えてくれるようになりました。

私はあいさつのすごさを感じました。改めてあいさつの意味を調べてみると「相手に近付き、心を開くことで日常生活の不和をさける効果もある。」と書かれていました。あいさつは円滑な人間

関係を築くためのコミュニケーション方法でもあるのです。

私は犯罪防止のためにもあいさつをすることをすすめます。あいさつをされたり、したりすると心がすっきりします。やみの中にいるような罪の心が花畑にいるような晴れやかな心へ変わります。

例えば、万引き。万引きをしようとしても、

「こんにちは。気をつけて帰るんだよ。」

と言われると万引きしようという心がなくなるかもしれません。

また、あいさつは「こんにちは」や「おはよう」だけではなく、

「ありがとう」や「ごめんね」もあります。何かをされてムカついていても「ごめんね」と言われるとスッキリします。

このようにあいさつにはいろいろな良い効果があります。元気な町づくりの第一歩としてあいさつから始めてみてはどうでしょうか。

